

ジャクソンホールで強まった「追加利上げ」警戒

ウォーシュFRB議長はインフレ抑制を優先、9月FOMCでの利上げ観測が再浮上

9月FOMCの利上げ確率と据え置き確率の推移

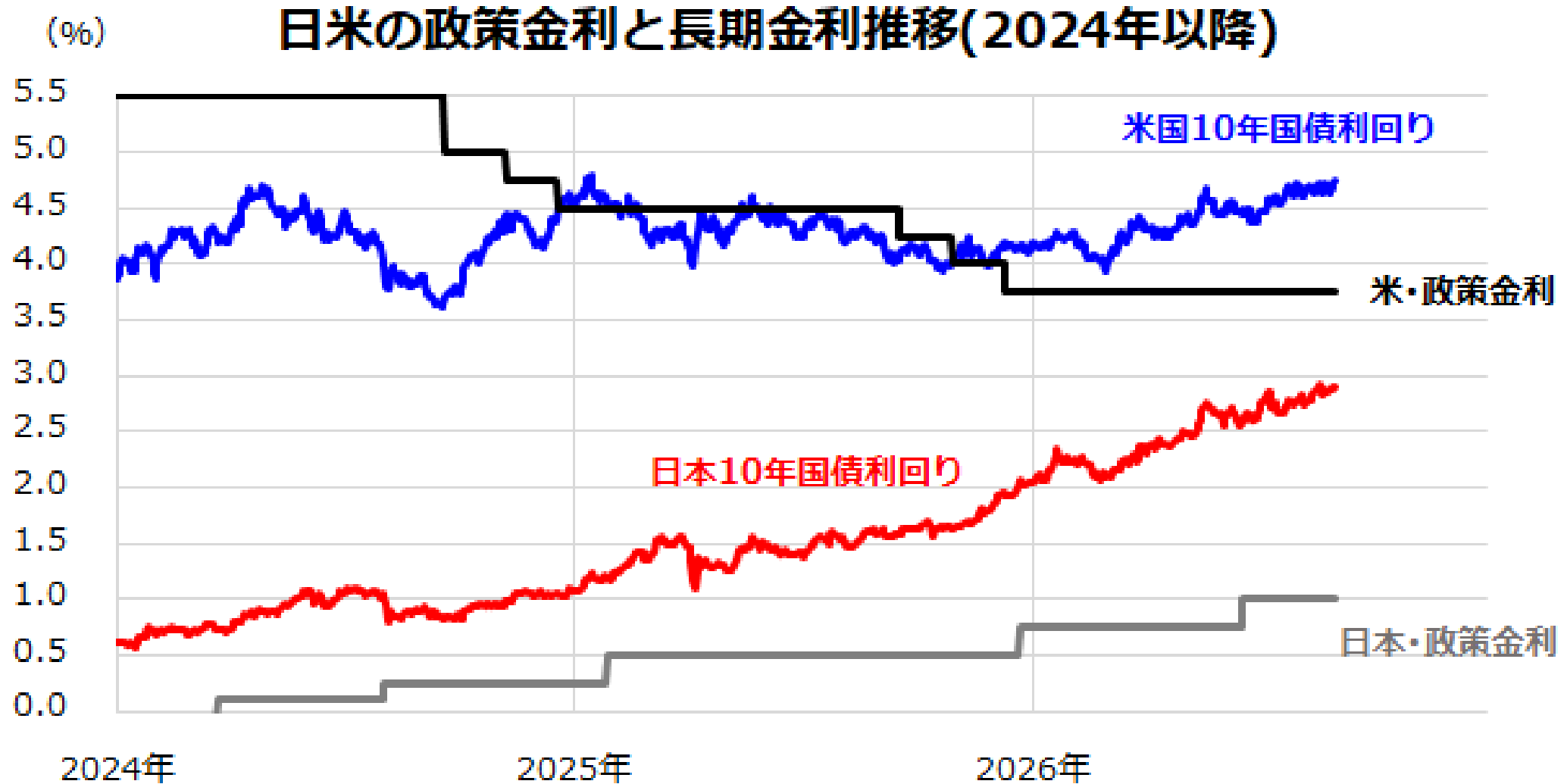


【ウォーシュFRB議長：ジャクソンホールでの注目発言】

- 基調インフレが2%目標へ明確かつ速やかに戻らなければ、FRBには『やるべき仕事』が残る
- 米景気は底堅く、金融環境も著しく引き締まっていないため、追加利上げの余地がある
- インフレ期待の安定を守るため、必要なら行動する姿勢を示唆

日米同時利上げは9月相場の波乱要因か？

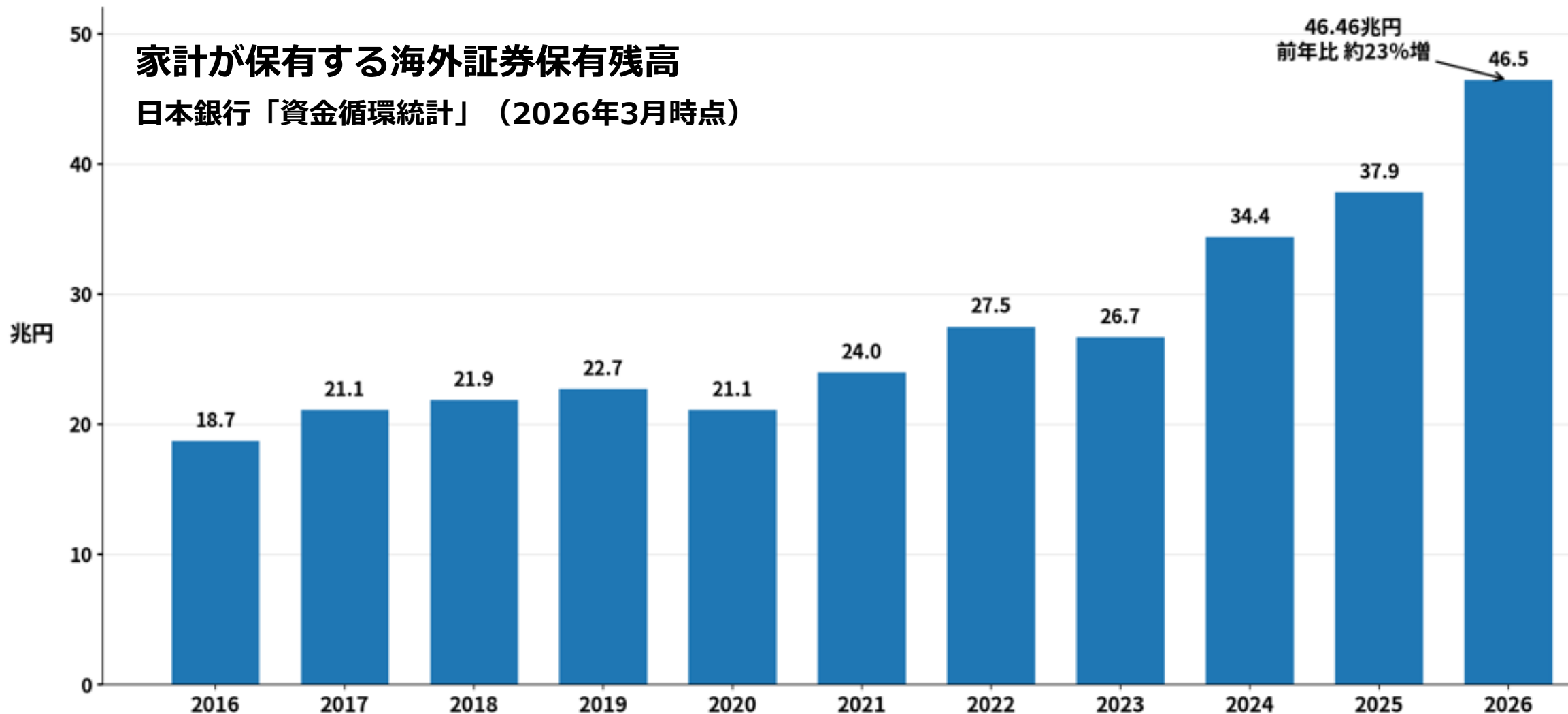
16日のFOMCと18日の日銀会合を控え、日米金利の上昇圧力に警戒感



(出所) 2024年以降の市場実績 (日次/2026年8月31日) より作成

国内家計の海外証券投資残高は増加傾向

家計が保有する海外証券投資残高は前年同期比23%増加した

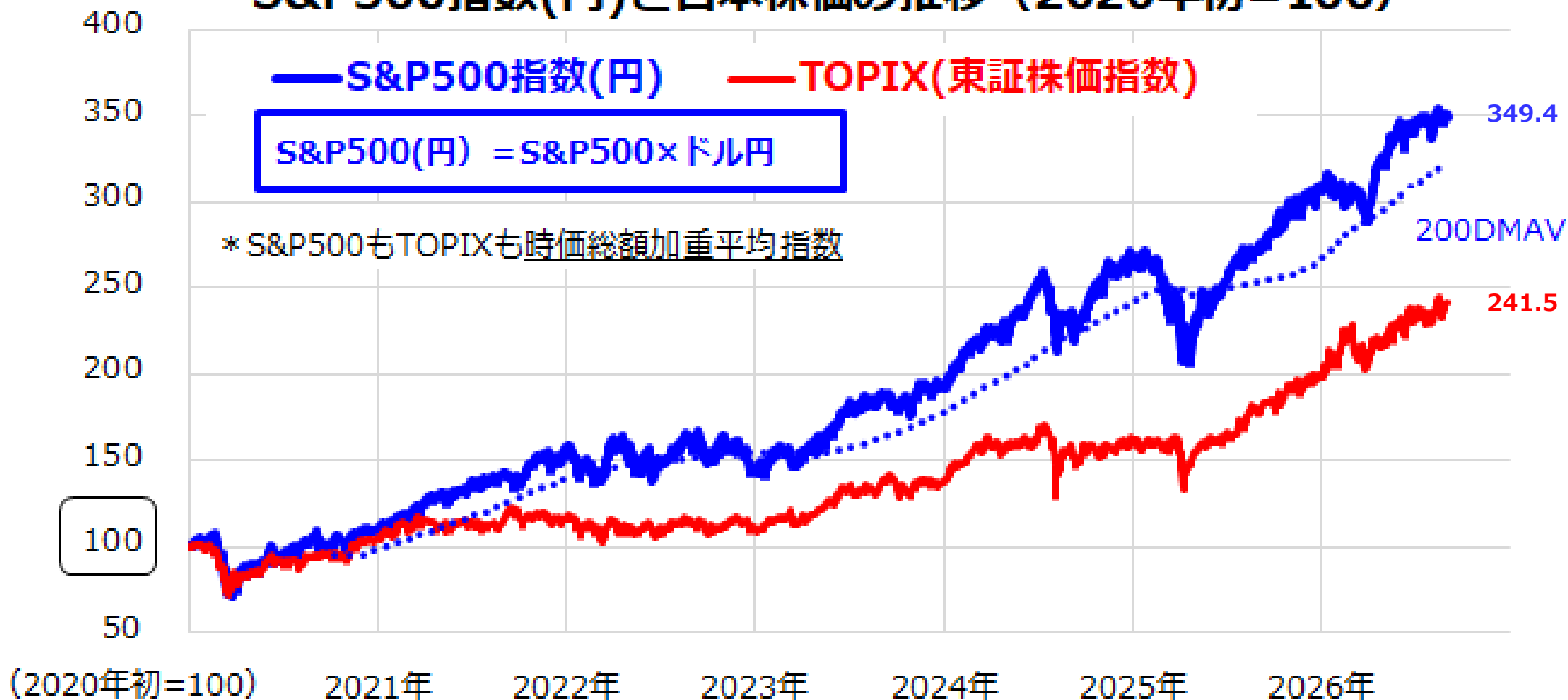


（出所）日本銀行「資金循環統計」（2026年3月期末時点）より作成

「円建て米国株式」の好リターンが外貨投資を後押し

2020年初来の年率リターンは円建てS&P500が+20.8%、TOPIXが+14.1%

S&P500指数(円)と日本株価の推移（2020年初=100）



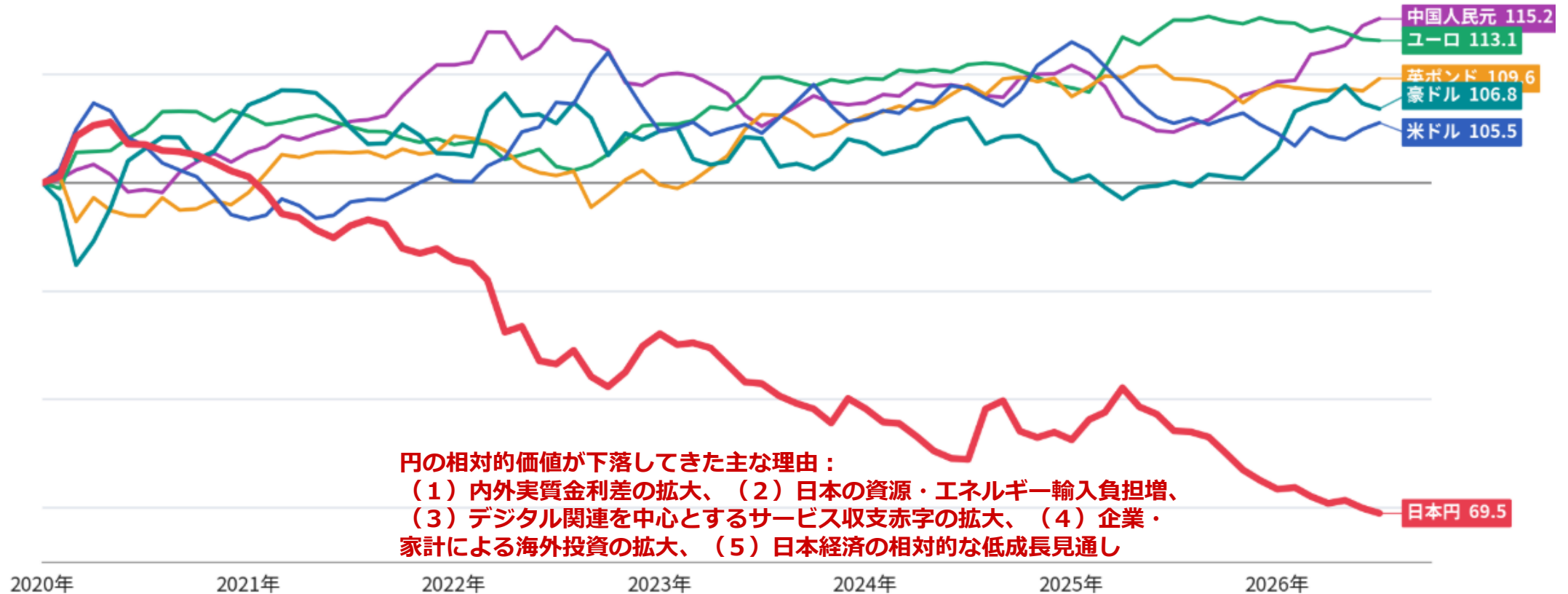
協調介入や利上げで円安傾向をとめられる？

主要通貨の名目実効為替レートで円だけが下落傾向を鮮明にしている

主要通貨の名目実効為替レート

2020年1月=100 (BIS)

名目実効為替レートとは、各通貨の価値を主要な貿易相手国の通貨に対して貿易額に応じて加重平均した指標。指数が上昇すれば当該通貨の相対的価値が上昇、低下すれば当該通貨の価値が下落したことを示す。



(出所) BIS (国際決済機構) が公表する名目実効為替レート (2026年7月時点) より作成